



ERINA REPORT (PLUS)

No.164

✓ 今号の見どころ

ERINA シンポジウム「太平洋・日本海 2 面活用型国土 —日本海側地域の将来像を考える—」

・・・28 ページ



2021年10月13日、新潟市の朱鷺メッセ会場とオンラインを併用してシンポジウムを開催しました。パネリストの歴史紀行作家・エッセイストの加藤貞仁氏は、「北前船が創った『日本海の時代』」の話題を提供する中で、「北前船の寄港地などが連携し、外から来た人たちにその歴史、遺物などを説明していくことで新しい地方創生の活力になるのではないか」と話されています。

留学生による佐渡企業見学ツアー実施報告

・・・38 ページ

新潟県内に在学中の外国人留学生に、県内の地場産業や特色ある技術を持つ企業などを紹介することを目的とした「留学生による新潟県企業視察ツアー」を、2021年11月19日に佐渡で開催しました。今回は佐渡の尾畑酒造株式会社とシーサイド・ファクトリー株式会社の2社を訪問しました。終了後、受入企業と留学生から大変有意義な時間を過ごすことができた、という好意的な声をいただきました。ツアーの詳細な様子をお届けしますので、一読して頂ければ幸いです。



2021年英国国連気候変動会議—パリ協定は存続するも風前の灯火

・・・44 ページ



ERINA の研究員が2021年10月31日～11月13日、英国グラスゴーのスコットランド・イベントセンターで開催された国連気候変動会議（COP26）に参加しました。会議の目標と成果、世界リーダーズ・サミットでの岸田文雄首相はじめ北東アジアのリーダーたちの声明の内容、会議の重要な要素であるサイドイベントや展示会について報告しています。